

平成15年3月期 決算説明会

2003年4月28日

沖電気工業株式会社

<http://www.oki.com/jp>

I 2003年3月期決算

- | | | |
|-----------|-----|-----|
| 1. 決算の概要 | --- | P 3 |
| 2. 業績サマリー | --- | P 4 |
| 3. P/Lの概要 | --- | P 5 |
| 4. B/Sの概要 | --- | P 7 |

II 2004年3月期予想

- | | | |
|--------------------------|-----|-----|
| 1. 2004年3月期計画の前提 | --- | P 9 |
| 2. 売上・利益の概要 | --- | P11 |
| 3. セグメント情報
情報/通信/デバイス | --- | P12 |
| 4. キャッシュフローの状況 | --- | P20 |
| 5. 設備投資・R&Dの状況 | --- | P21 |
| 6. 人員の状況 | --- | P22 |

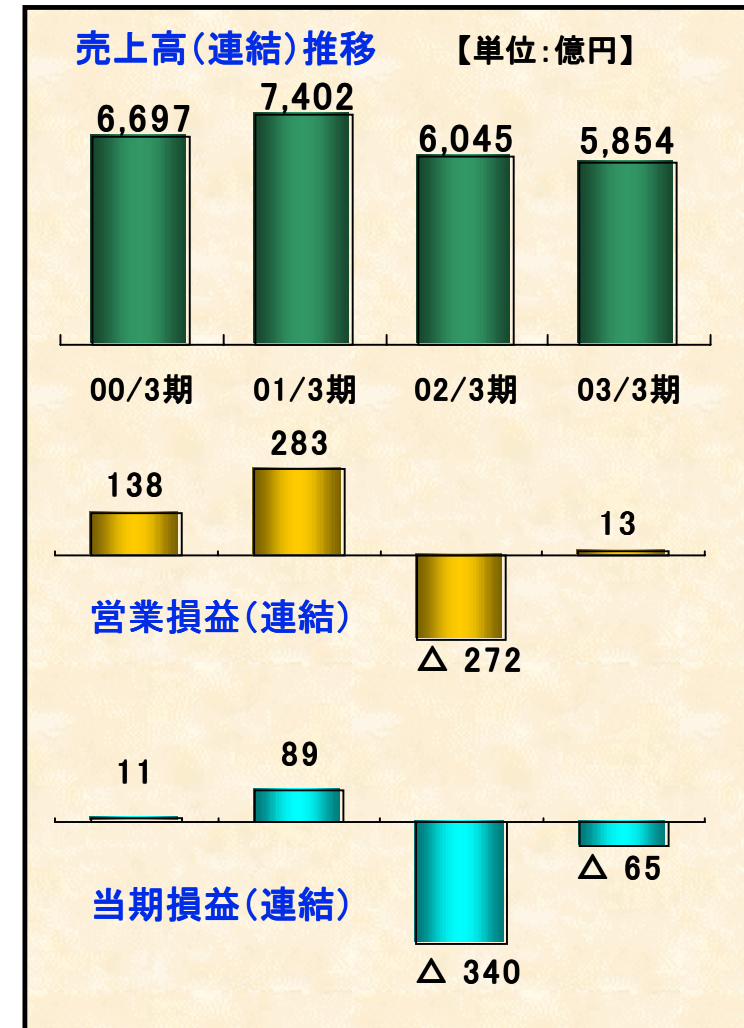
【03/3期決算】決算（連結）の概要

事業構造改革の推進により営業利益は黒字転換

ハイライト

- 市場の設備投資の抑制、IT市況の低迷等の影響により**連結売上高**は前期比191億円減（ $\Delta 3.2\%$ ）の**5,854億円**
- 固定費の削減・変動費化、調達コスト低減等により、**営業損益**は前期比**285億円改善し黒字転換の13億円**（P6参照）
- **当期損益**は前期比275億円改善したが、株式評価損、リストラ費用等の発生により **$\Delta 65$ 億円**（投資有価証券等評価損 72億円）

構造改革により収益悪化傾向に歯止め
純利益増大による
株主資本の増強が今後の課題



【03/3期決算】業績サマリー

主要な連結経営指標の推移

(04/3期は予想)

項 目	00/3期	01/3期	02/3期	03/3期	04/3期
売上高 (億円)	6,697	7,402	6,045	5,854	6,300
営業利益 (億円)	138	283	△272	13	200
経常利益 (億円)	72	222	△311	△78	110
当期純利益 (億円)	11	89	△340	△65	35
1株当り当期純利益 (円)	1.87	14.60	△55.66	△10.72	—
総資産 (億円)	7,484	7,324	6,515	6,228	—
株主資本 (億円)	1,425	1,488	1,090	1,013	—
株主資本比率 (%)	19.0	20.3	16.7	16.3	—
株主資本利益率 (%)	0.8	6.1	△26.4	△6.2	—
1株当り株主資本 (円)	232.86	243.12	178.16	165.63	—
営業キャッシュフロー (億円)	559	624	169	2	800
投資キャッシュフロー (億円)	△434	△139	△258	43	△400
財務キャッシュフロー (億円)	△545	△635	3	△200	△400

【03/3期決算】P/Lの概要

■ 比較P/L

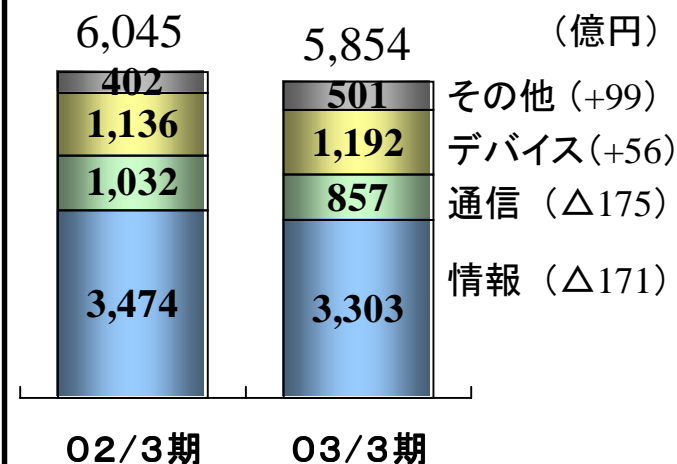
(金額単位: 億円)

	02/3期	03/3期	差異(増減)
売上高	6,045	5,854	△191
(売上原価率)	(81.1%)	(76.1%)	(5.0%良化)
売上原価	4,902	4,457	△445
販管費	1,415	1,383	△32
営業利益	△272	13	285
営業外収支	△39	△92	△53
経常利益	△311	△78	233
特別利益	120	(注1) 211	91
特別損失	379	(注2) 167	△212
税引前利益	△570	△34	536
法人税等	△229	30	259
当期純利益	△340	△65	275

(注1) 固定資産売却益(芝浦・小金井他)196
投資有価証券売却益 14

(注2) 事業再編損 61
投資有価証券等評価損 72
固定資産処分損 10 他

連結売上高



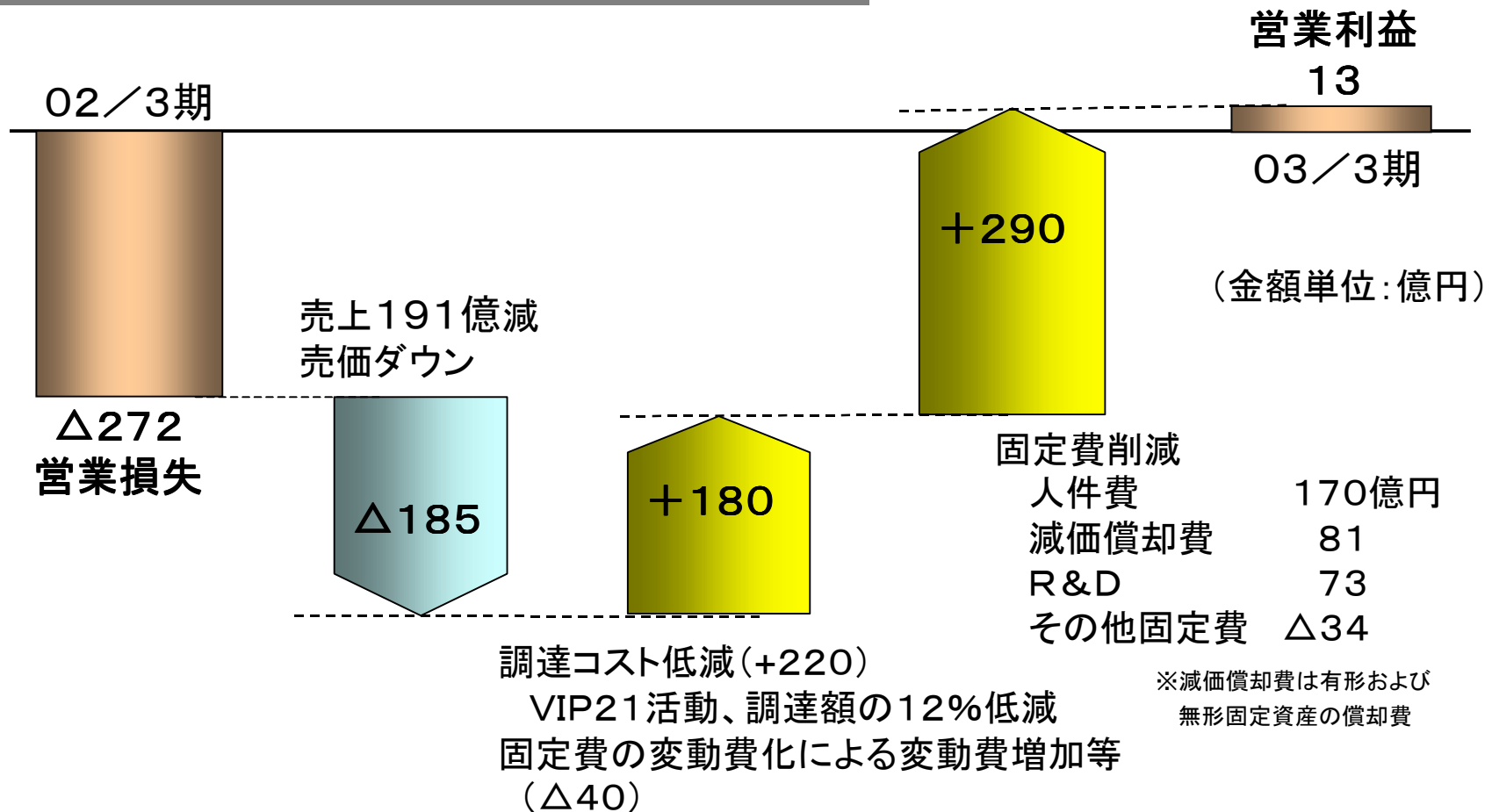
連結営業損益

	02.3期	03.3期	差異
情報	31	198	167
通信	△ 95	△ 81	14
デバイス	△118	△ 9	109
その他	7	10	3
消去・本社費	△ 97	△103	△6
合計	△272	13	285

【03/3期決算】コスト削減－営業利益黒字化

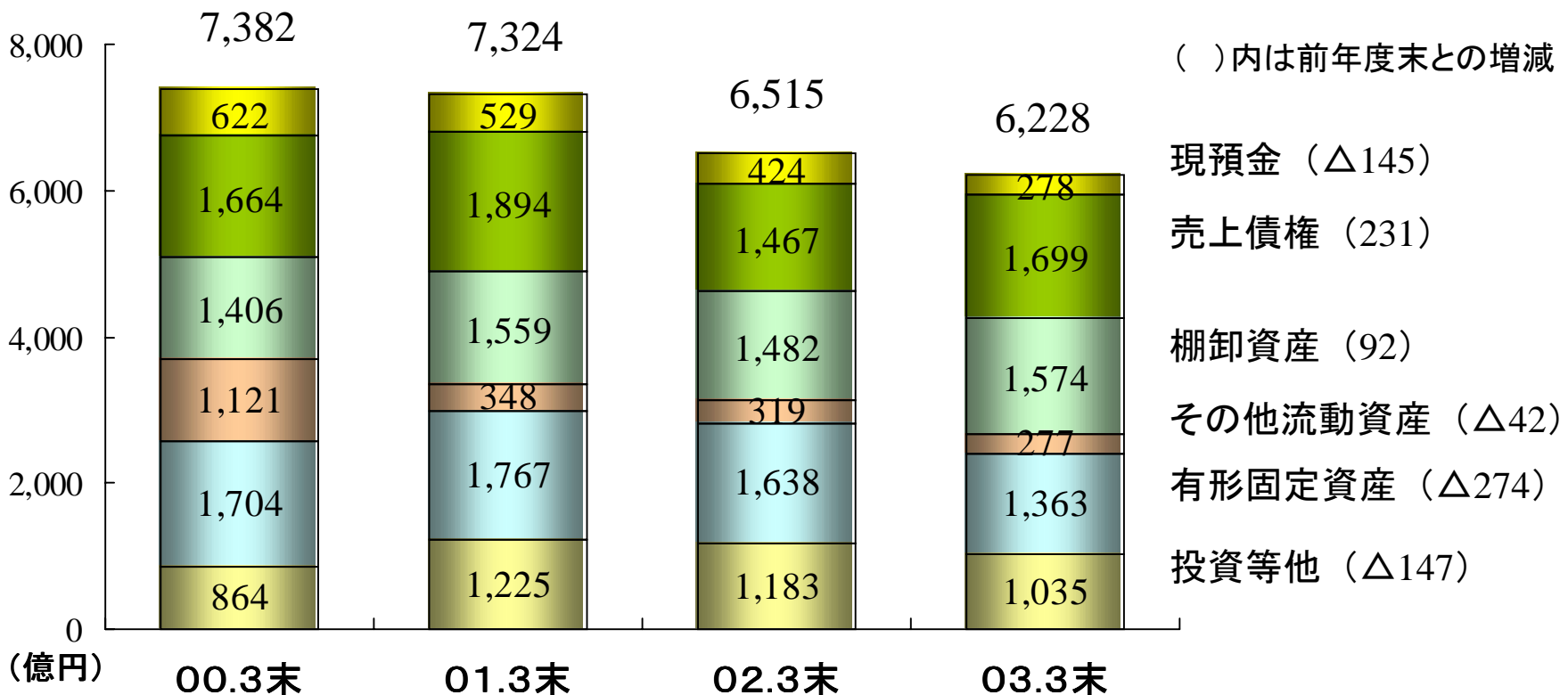
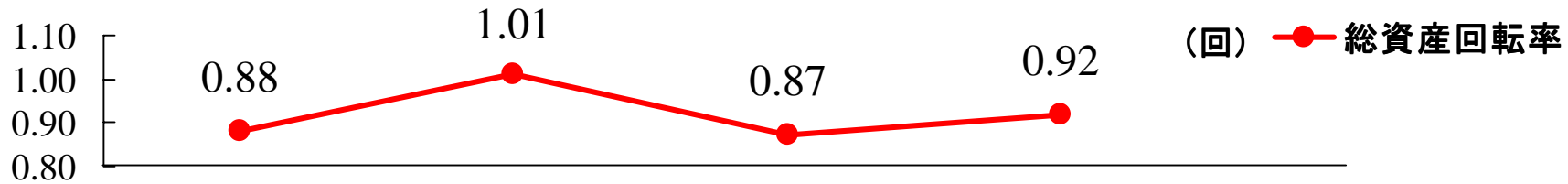
- 第3次構造改革による固定費削減効果
- VIP21活動による調達コスト低減効果等により、営業利益は前期比285億円改善

* VIP21: 全社横断の原価低減プロジェクト
Value Innovation Program 21



【03/3期決算】B/Sの概要－資産の部

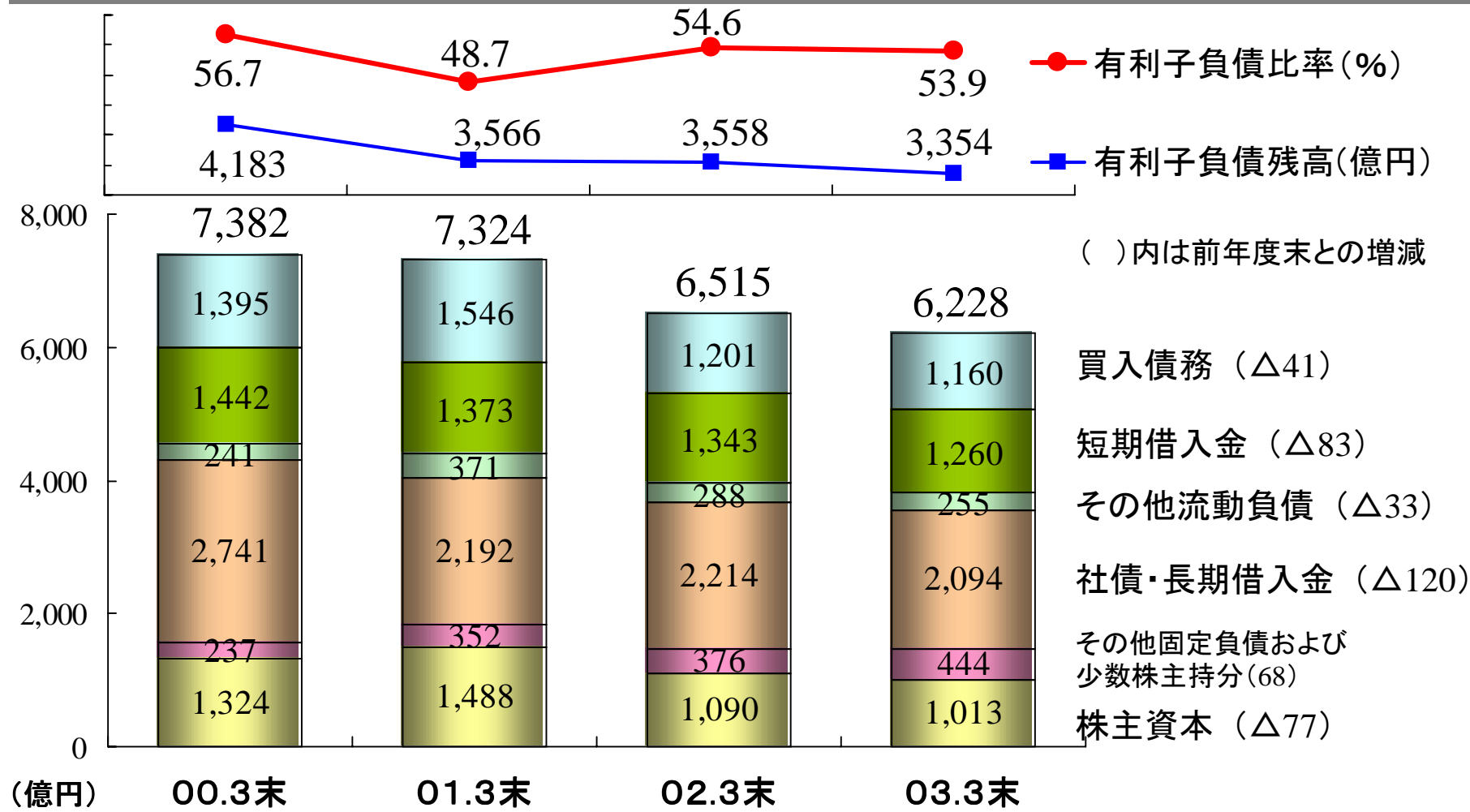
資産売却、資産流動化により重点事業分野への投資資金創出
資産効率は改善（総資産回転率は0.05回改善）



(注)00.3末は、為替換算調整勘定を資本の部に組み替えて表示している

【03/3期決算】B/Sの概要－負債・資本の部

有利子負債は203億円減少し、有利子負債比率は0.7%改善
当期純損失のため株主資本比率は0.4%悪化(16.7⇒16.3%)



注) 00.3末は、為替換算調整勘定を資本の部に組み替えて表示している
03.3末の短期借入金にCP41億を含む(その他流動負債から組み替えている)

【04/3期予想】04年3月期計画の前提

【経済見通し】

- ◆ 国内 イラク戦争、SARS問題等により景気回復は引き続き不透明
企業の業績改善はあるが、民間設備投資の回復は遅れ気味
- ◆ 欧米 イラク戦争等の影響で不透明感が増大、低迷を前提に計画

【市場動向】

- ◆ 情報 官公需、民需とも低迷、新紙幣発行によりATM更新・改造需要拡大
- ◆ 通信 通信キャリア・企業のIP電話関連の需要拡大
- ◆ デバイス 半導体市況は年後半から回復、一部の市場(欧州・中国携帯電話、中国PHS用LSI等)は拡大基調

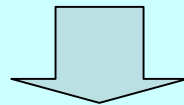
【為替の前提および04/3期に与える影響】

	03/3期実績	04/3期想定	売上影響	営業損益影響
USドル	122.0円/US\$	120円/US\$	7.5億円/1円	2億円/1円
ユーロ	121.0円/EUR	125円/EUR	5.5億円/1円	2億円/1円

●情報通信融合商品の創出強化と徹底拡販

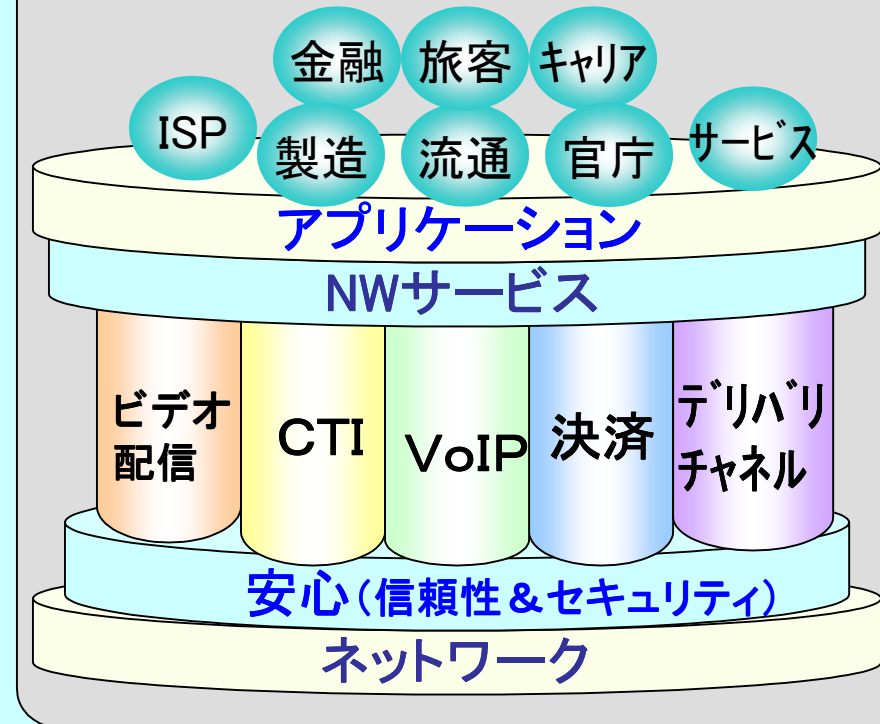
情報通信融合商品の創出強化

VoIP、CTI、ビデオ配信、デリバリ
チャンネル、決済と安心（信頼性&
セキュリティ）などの
沖の強い分野に資源を集中
⇒標準プラットフォームをベース
にしたアプリケーションと
NWサービスの効率的な創出



徹底拡販

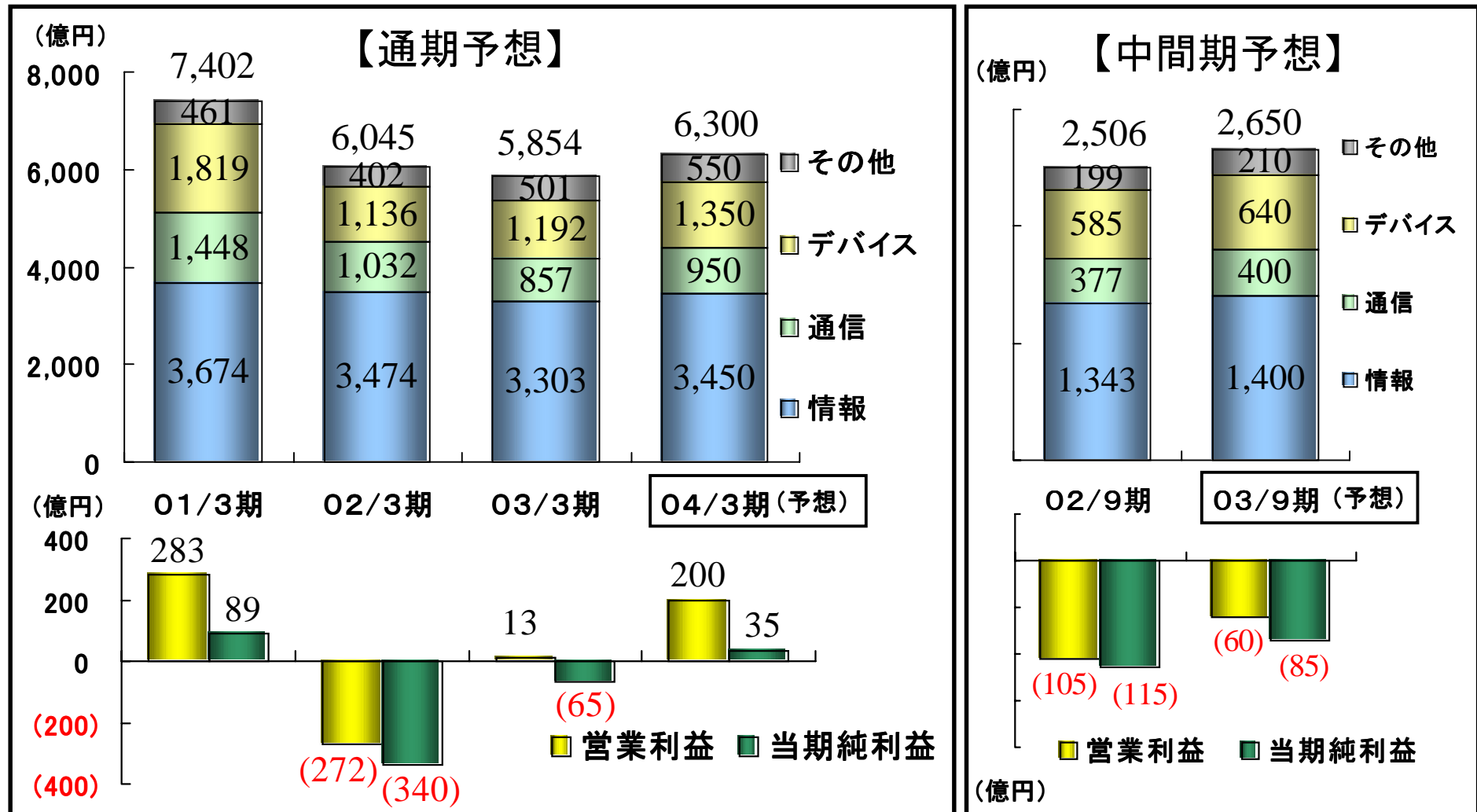
「AP@PLAT™」の体系



●リソース／費用の変動費化・適正化による収益力強化 人材流動化、調達コスト削減、キャッシュフロー創出

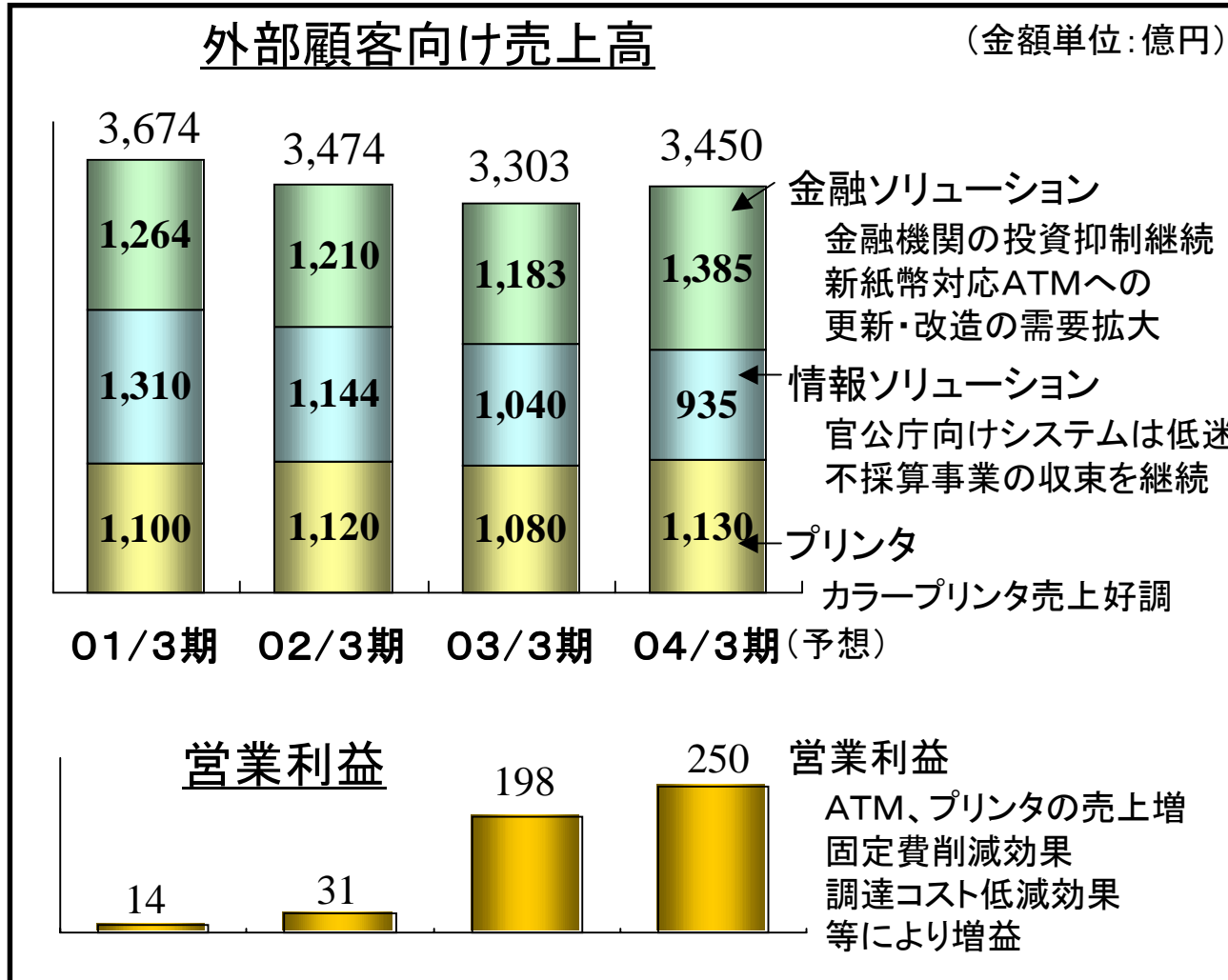
【04/3期予想】売上・利益の概要

- 2004年3月期は前期比446億円の売上増、営業利益は187億円改善
- 引き続き事業構造改革を進めるため当期純利益は35億円の計画(前期比100億円改善)

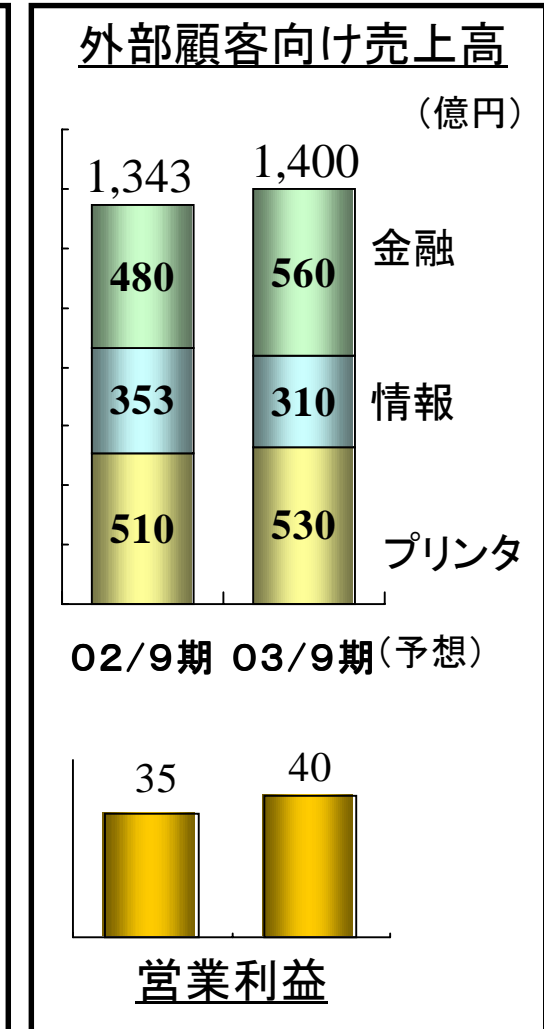


- ATM、プリンタの売上増加等により増収、増益見込み

【04/3期通期予想】



【03/9期中間期予想】

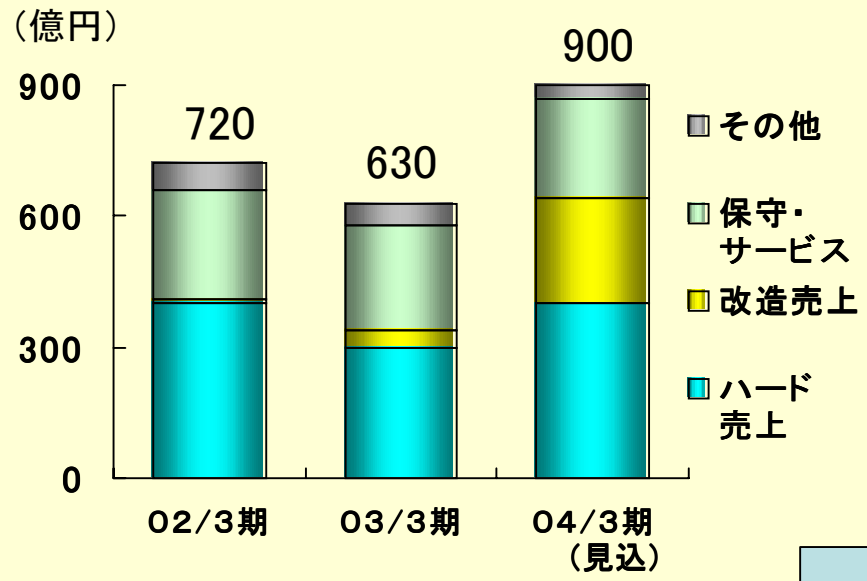


【04/3期予想】情報〈ATM更新/改造の需要拡大〉

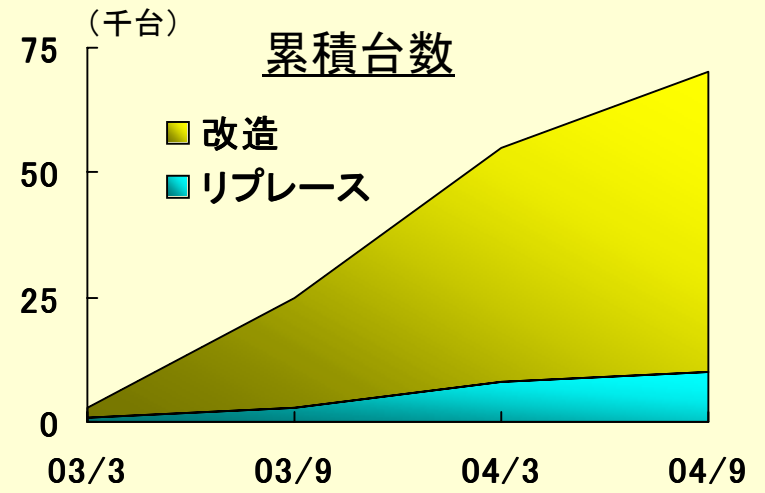
新紙幣対応への体制強化

- ◆ ATMリプレース、認識ユニット交換に向け万全の体制を構築
- ◆ 新紙幣対応ハードウェア生産、設置、改造などの作業負荷を平準化

【ATM関連売上高推移】



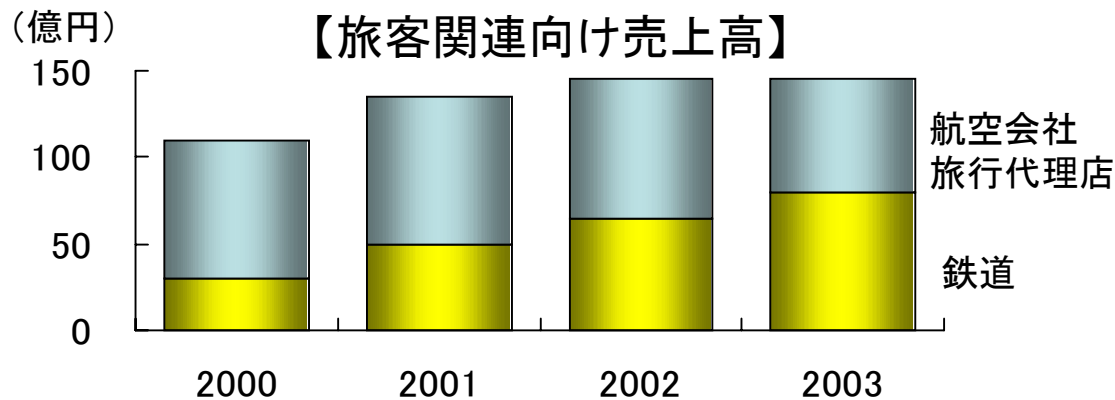
【新紙幣対応 改造／リプレース】



金融関連の新しい事業領域拡大・強化

- ◆ 金融機関向け情報通信融合商品の拡大(コールセンタ、セキュアNW、VoIPなど)
- ◆ サービス事業領域の拡大 (決済関連、ATM監視、アウトソーシングなど)
- ◆ 海外市場(中国)向けATMの展開準備

鉄道業界に向けた新しい情報サービスに注力

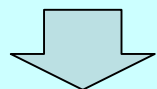


▶ イラク戦争、SARS問題による航空会社／旅行代理店向けの売上縮小

▶ 鉄道分野の売上拡大によってカバー

【04/3期予想】 情報〈カラープリンタ〉

2000年6月、世界最高速(当時)の
LEDカラー機の市場投入以来、順調にシェアアップ



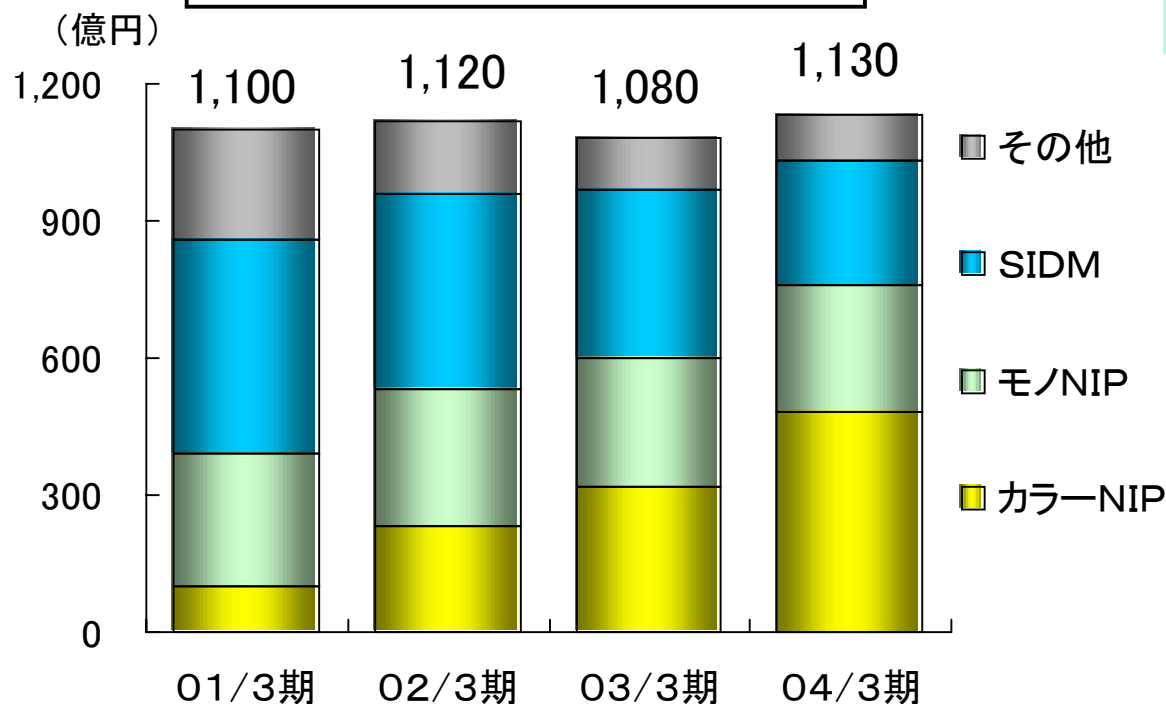
オフィス・SOHO向けカラープリンタの市場シェア
10%目標(2003年出荷ベース、W・W)

MICROLINE 5100/5300

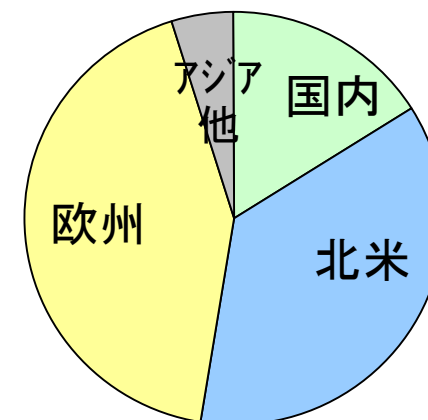


カラーページプリンタは
小型高速・低価格機種の投入で
SOHOなどの市場が拡大

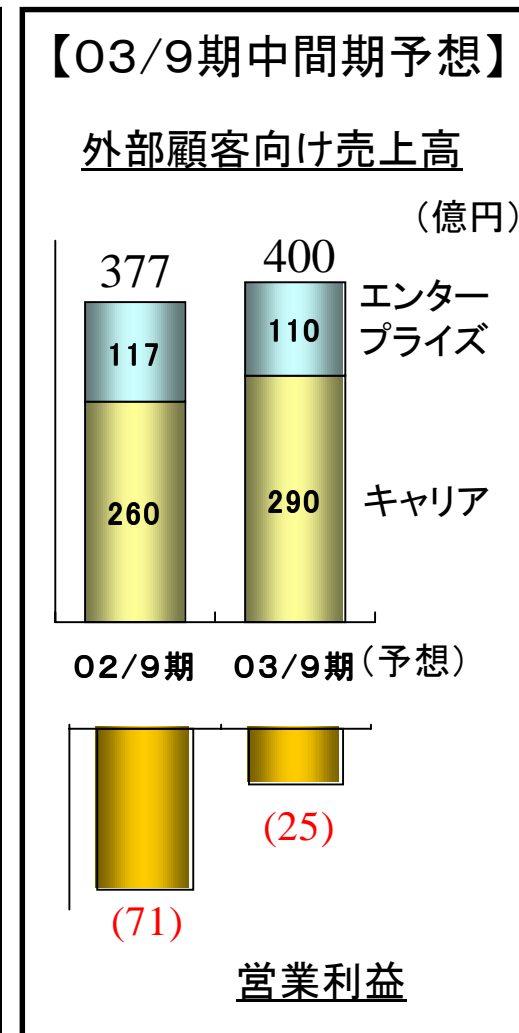
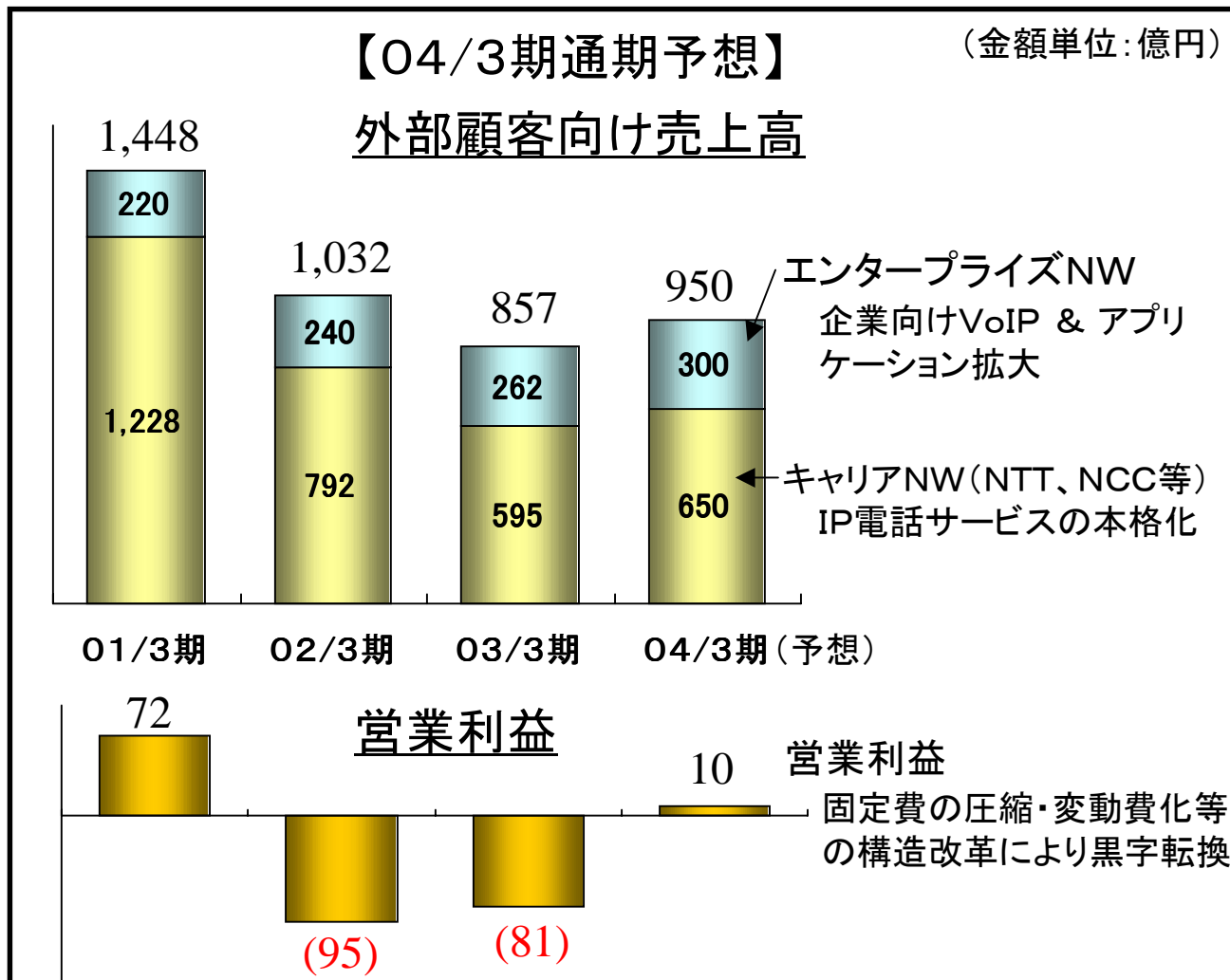
機種別売上高



プリンタの
地域別売上高比率

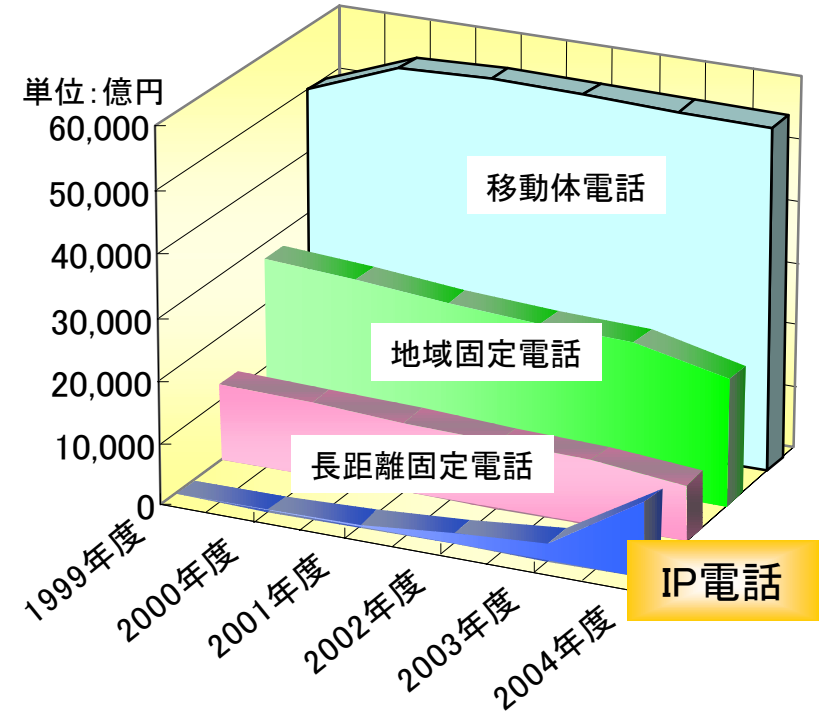


- 売上はIP電話サービスの立上りにより微増の見込み
- 第3次構造改革の着手により営業利益は黒字回復見込み



【04/3期予想】 通信<IP電話市場の本格化>

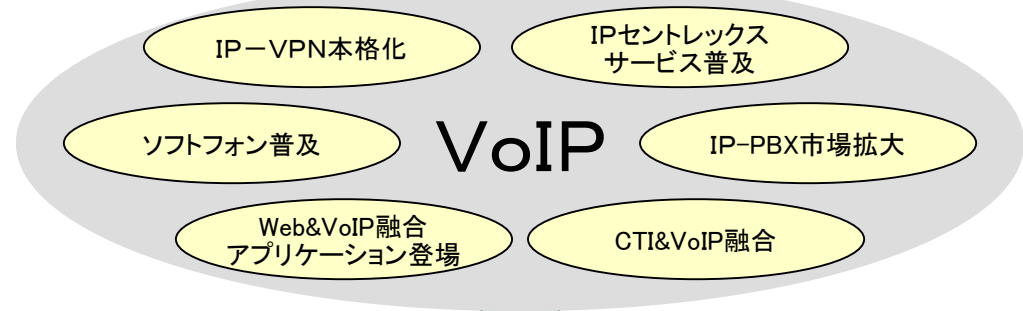
各種電話サービス市場の推移



2003年度は
IP電話の市場が本格立上り

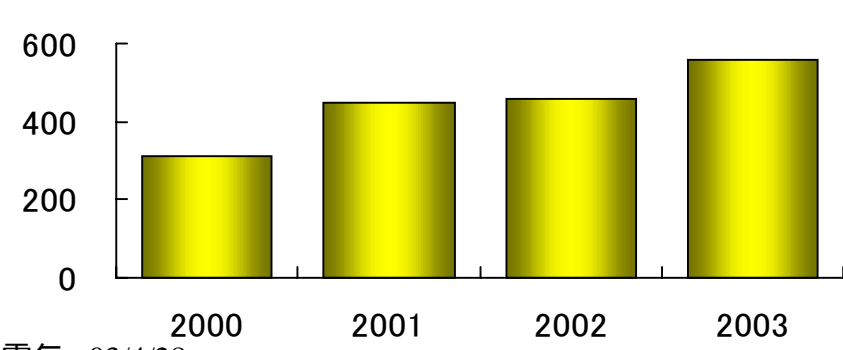
- IP電話加入者600万人見込み
- 企業ユーザ利用が拡大、050サービス開始

IP電話ユーザが拡大
WebとVoIPの融合による新サービス・スタート

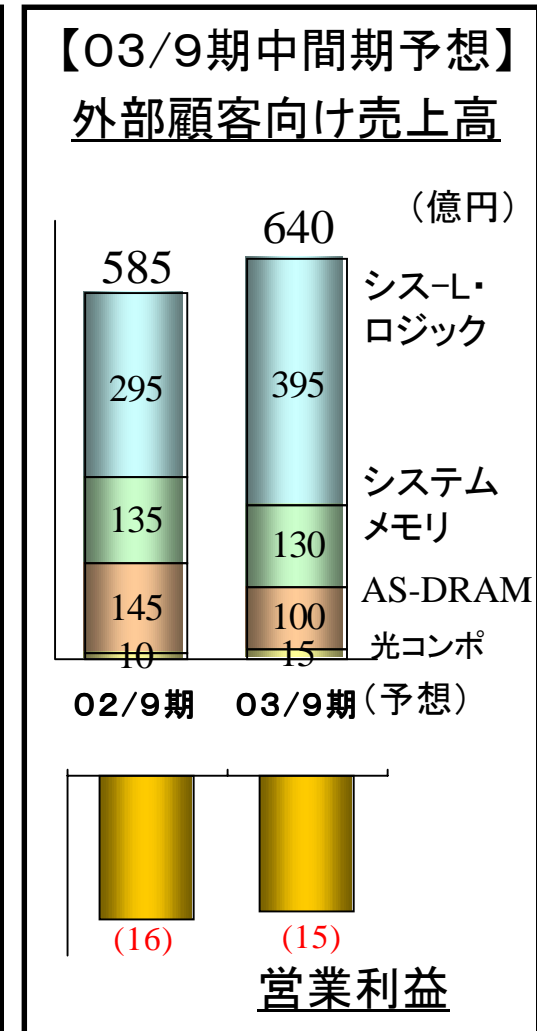
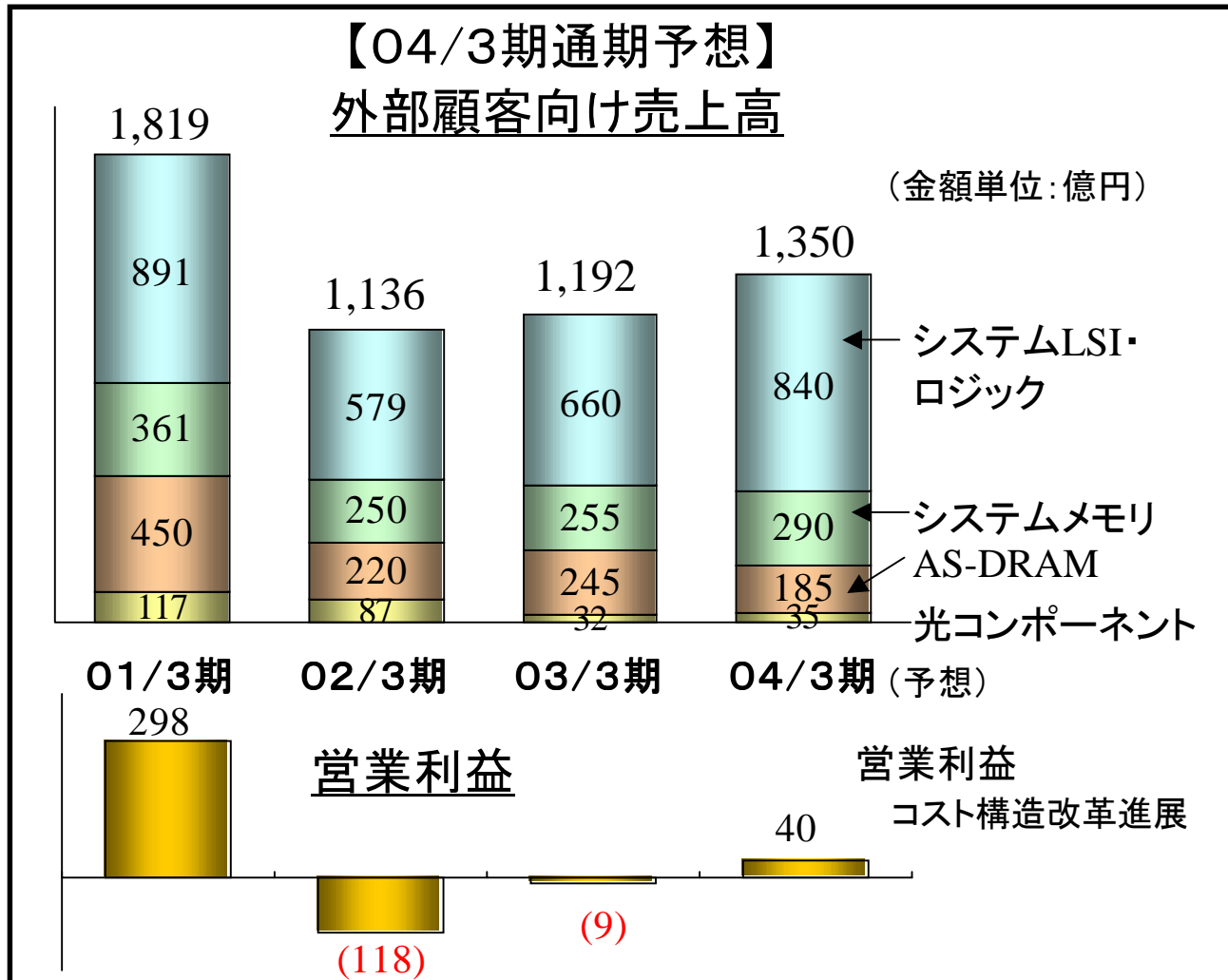


IP電話のトップベンダとして、
2003年度は、キャリアや
企業のIP電話関連市場を
徹底攻略

【IP関連売上高推移】



- 沖の差別化・戦略商品群の売上拡大(音源・PHS・SOI・P2ROM等)
- 光コンポーネント事業の構造改革を進める



モバイル・パーソナル市場における戦略商品群の需要拡大

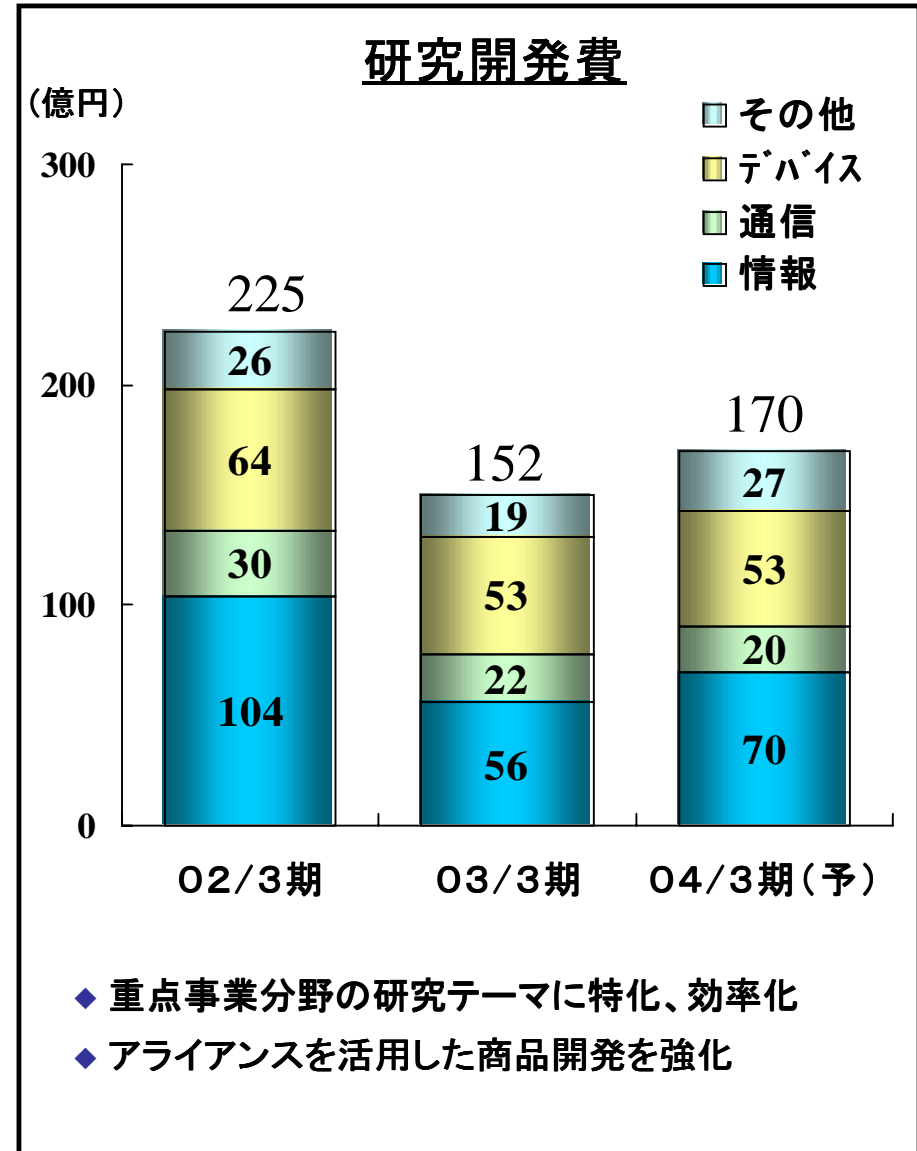
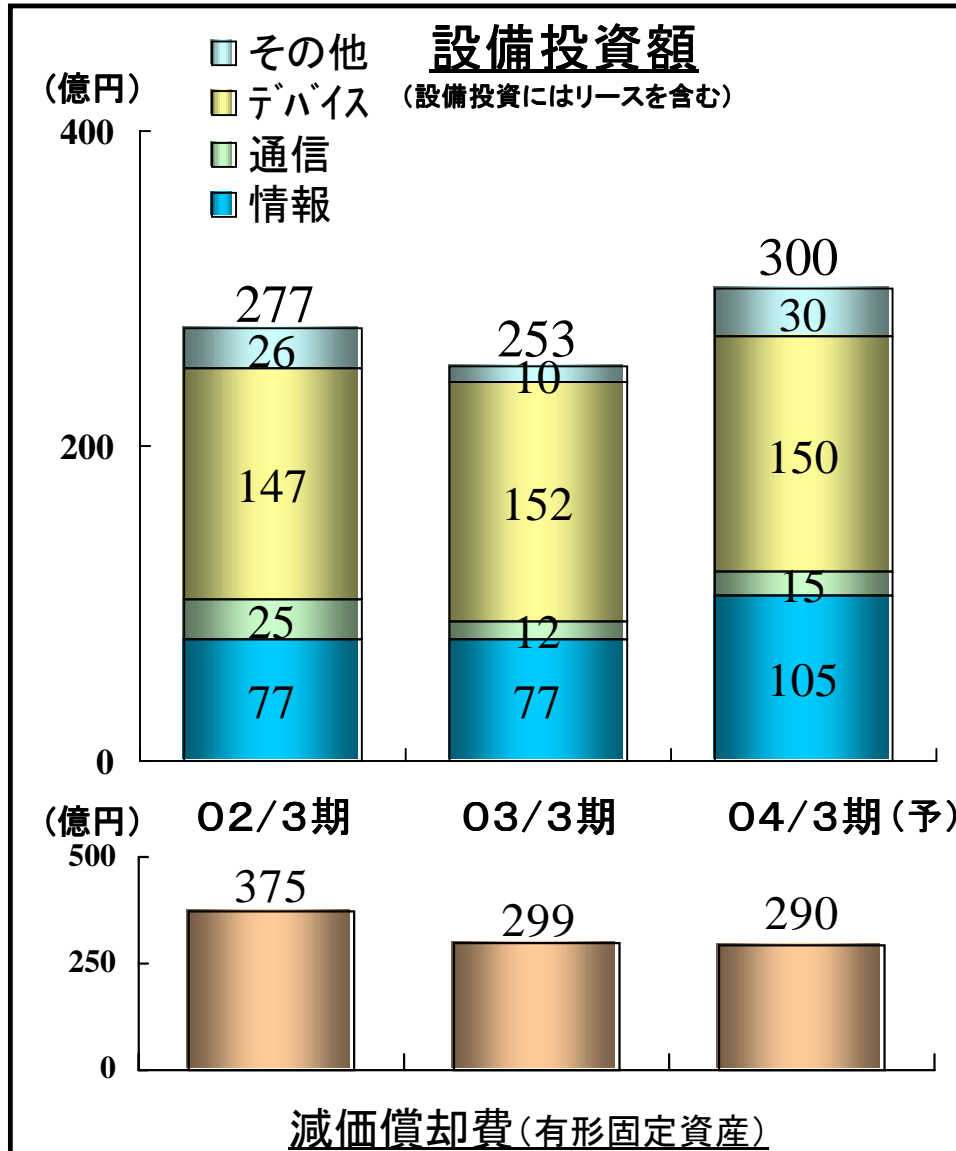
商品	事業の動向	売上目標						
PHS用 ベースバンド (BB)-LSI	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国内：128kデータカード用のBB-LSIの売上拡大/μPLAT[®]仕様、CODEC技術 ◆ 中国：音声端末向け需要急拡大、廉価版のBB-LSI投入 	<p>(数値は前期比売上増分：億円)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上 (億円)</th></tr> <tr><td>03/3期</td><td>40</td></tr> <tr><td>04/3期</td><td>70</td></tr> </table>	期	売上 (億円)	03/3期	40	04/3期	70
期	売上 (億円)							
03/3期	40							
04/3期	70							
携帯着メロ用 音源LSI Swinger Ringer	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日・韓に続き欧州・中国・北米の着信メロディサービス拡大、GSM市場でトップシェア ◆ 高音質PCM音源、W-CSP技術 	<table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上 (億円)</th></tr> <tr><td>03/3期</td><td>40</td></tr> <tr><td>04/3期</td><td>100</td></tr> </table>	期	売上 (億円)	03/3期	40	04/3期	100
期	売上 (億円)							
03/3期	40							
04/3期	100							
ドライバ用LSI	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大型LCDモニタの市場拡大に伴いTFTドライバを中心に売上拡大 ◆ 高耐圧プロセス技術 	<table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上 (億円)</th></tr> <tr><td>03/3期</td><td>120</td></tr> <tr><td>04/3期</td><td>150</td></tr> </table>	期	売上 (億円)	03/3期	120	04/3期	150
期	売上 (億円)							
03/3期	120							
04/3期	150							
P2ROM	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ゲーム、電子辞書、教育機器、TV等の市場でMask-ROM、Flash代替需要でシェア拡大 ◆ 沖独自の高密度セル構造、低コスト、短納期(データ受領後翌日出荷) 	<table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上 (億円)</th></tr> <tr><td>03/3期</td><td>175</td></tr> <tr><td>04/3期</td><td>225</td></tr> </table>	期	売上 (億円)	03/3期	175	04/3期	225
期	売上 (億円)							
03/3期	175							
04/3期	225							

【04/3期予想】キャッシュ・フローの状況

(金額単位:億円)

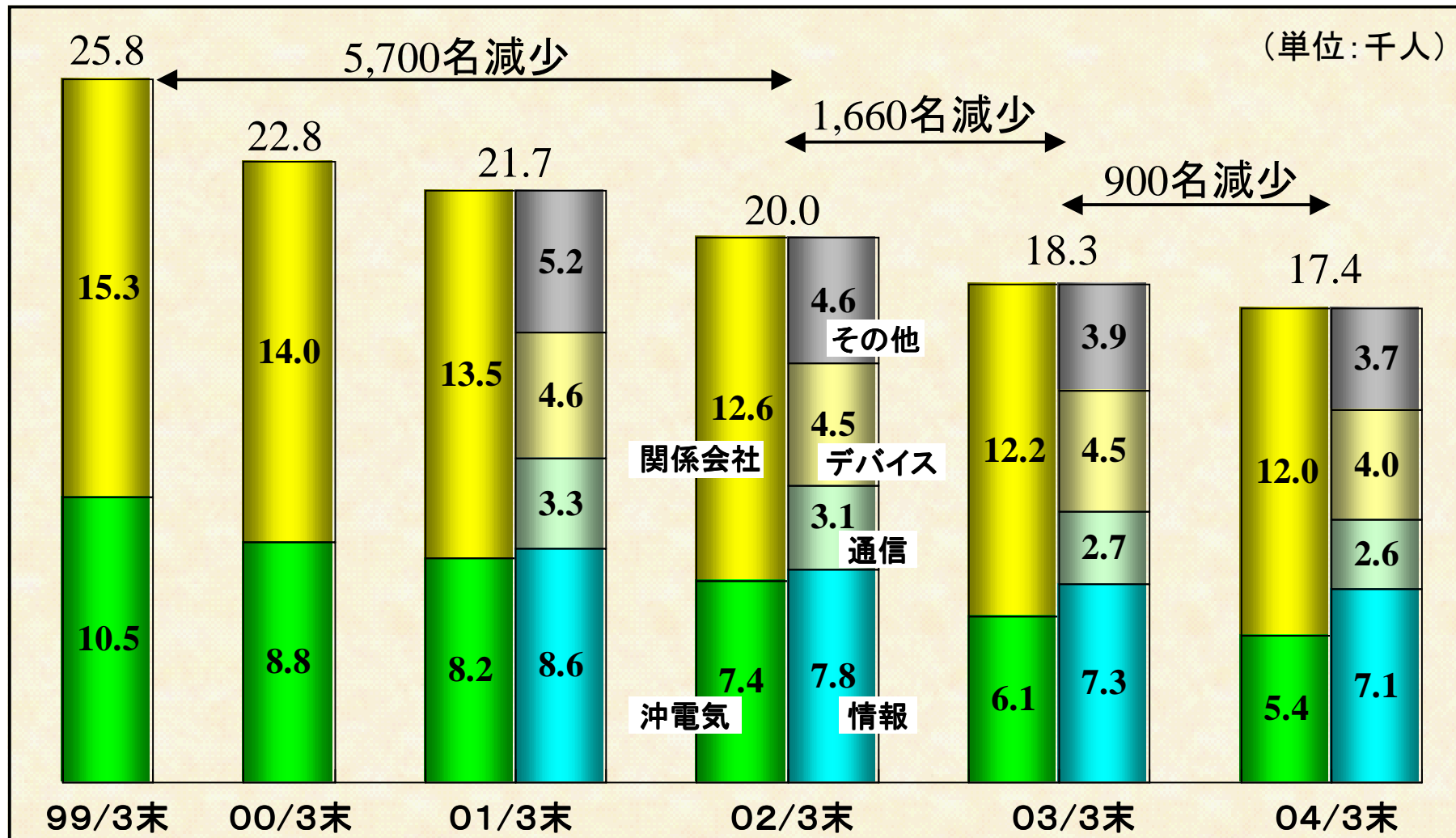
	02. 3期	03. 3期	04. 3期	* 備考
営業キャッシュフロー	169	2	800	
税金等調整前当期純利益	△570	△34	60	
減価償却費	* 480	* 399	* 390	有形・無形固定資産の償却費
運転資金の増減	248	* △338	240	売上期末集中による売掛金増 出荷の翌期へのズレによる棚卸増
その他	11	△25	* 110	退職給付引当金の増150億円他
投資キャッシュフロー	△258	43	△400	
設備投資支払額	△325	△235	△250	
その他投資活動	67	* 278	△150	土地・建物売却258億円他
フリーキャッシュフロー(+)	△89	45	400	
財務キャッシュフロー	3	△200	△400	
社債償還	△245	△226	* △399	03.4 普通社債 77億円(済) 04.3 転換社債 322億円
長短借入金等の増減	248	* 26	△1	CPの増41億円他
キャッシュフロー計(+ +)	△86	△155	0	
現金同等物等の期末残高	454	292	292	
有利子負債の期末残高	3,558	* 3,354	2,954	CP 41億円を含む

【04/3期予想】設備投資・R&Dの状況



【04/3期予想】人員の状況

国内従業員数推移(非連結関係会社を含む)



略語説明

P3.	IT	Information Technology
P8.	CP	Commercial Paper
P9.	SARS	Severe Acute Respiratory Syndrome
	ATM	Automated Teller Machine
	IP	Internet Protocol
	PHS	Personal Handyphone System
	LSI	Large Scale Integrated circuit
P10.	VoIP	Voice over Internet Protocol
	CTI	Computer Telephony Integration
	ISP	Internet Services Provider
	NW	Network
P15.	LED	Light-Emitting Diode
	SOHO	Small Office/Home Office
	SIDM	Serial Impact Dot Matrix
	NIP	Non-Impact Printer
P17.	IP-VPN	Internet Protocol - Virtual Private Network
	IP-PBX	Internet Protocol - Private Branch eXchange
	CTI	Computer Telephony Integration
P18.	SOI	Silicon on Insulator
	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory
	AS-DRAM	Application Specific Dynamic Random Access Memory
P19.	BB-LSI	Baseband Large Scale Integrated circuit
	CODEC	Coder Decoder
	GSM	Global System for Mobile Communications
	PCM	Pulse Code Modulation
	W-CSP	Wafer level Chip Size Package
	LCD	Liquid Crystal Display

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。